

平成31年1月28日

小平市教育委員会教育長 殿

小平市立小平第四小学校給食運営委員会
委員長 石崎 純一

平成30年度 小平第四小学校給食運営委員会（第2回）について

このことについて下記のとおり報告します。

記

日時：平成31年1月24日（金）午後0時～午後1時

会場：小平第四小学校 ランチルーム

出席者：11人

傍聴者：0人

会議の概要

1 運営委員長挨拶

2 委員紹介

3 会食

4 協議

（学務課長）この会議は、給食を取り囲むものたちで集まり、給食をより良くしていくためのものである。本日は家庭でのお子様との給食についての話や、意見等をお話しいただきたい。給食では食材の切り方や味つけ等、細かいところまで工夫が凝らされているため、子どもたちは苦手な野菜でも気付かず食べているかもしれない。

（栄養士）2学期以降、1、3、4年生で外部人材を活用した食育活動を行った。4年生の授業では、社会科で島の暮らしを学んだことに絡めて、八丈島で獲れた魚を子どもたちがおろし、それを給食室で焼いて給食時に食した。他学年でも外部人材による食育を実施したかったが、申し込みをするも人気があるためなかなか当たらなかった。6月末には1年生の保護者向けの試食会、夏休みには調理員にも協力してもらい料理教室を実施した。また、10月には食品ロス問題への研究・取り組みとして、市内各校で備蓄食品等を利用した献立を給食で提供した。第四小学校では備蓄クラッカーを使用したブルベーチーズケーキや、アルファ米を使用した月見汁、白がゆごまドーナツを作った。全校集会でも委員会の子どもたちから、食べ残しを減らすよう呼び掛けてもらった。

(委託会社) 第四小学校は現在社員3名とパート6名体制で調理を行っている。2学期に人員の交代はあったが、調理責任者を中心に非常にチームワーク良く調理をしているので、大きなミスや事故もなく調理ができています。今の時期はノロウイルスが非常に流行る時期であるが、今年度から小平市の指導で10月～3月中は月1回のノロウイルスの検査を実施することになった。本人に症状が出ていなくとも、ウイルスを保菌している可能性もある。本人だけでなく同居人に下痢や嘔吐の症状があれば、勤務させずに検査を受けさせ、安全が確認できてから出勤させるようにしている。また今年度はインフルエンザも非常に流行っていて、他の事業所でも調理員の休みが多発している。その場合にも近隣の学校から調理員を呼んだり、本社のスタッフを派遣したりと、万が一の休みがあっても給食が提供できるような体制を組んでいる。3学期も残り2か月で、6年生にとっては最後の小学校給食になるので、思い出に残るような給食を作りたい。

(調理チーフ) 給食を介してウイルスが子どもたちにうつることが絶対にないよう、現場の一人一人が健康管理を意識してやっている。調理については栄養士の先生とこまめに打ち合わせをしながら、おいしい給食を作っている。

(保護者) 一つ一つの献立がとても工夫されていて感心する。普段家庭では食べないようなものを、給食で子どもたちが挑戦できるのはありがたい。

(保護者) 和食・洋食のバランスがとてもいいと思う。家庭では肉料理の洋食に偏ってしまいがちだが、給食では和食が多めなのでありがたい。野菜の使い方や味付けも工夫されている。1品の中に何種類もの野菜を取り入れていて参考になる。手書きの献立も温かみがあって子どもとよく読んでいます。

(栄養士) 野菜はたくさん使用して、栄養バランスはもちろん、彩も良くなるようにしている。特に小平産の野菜をたくさん使用しているが、地場野菜は形が不揃いであったり泥や虫がたくさんついていたり、下処理にとっても時間がかかる。しかし調理員さん達はとても丁寧にやってくれているので助かっている。

(保護者) 家では子どもが食べないものは作らないので、必然的に料理のレパートリーが減ってしまう。給食ではみんなが食べられる物を工夫して作っているからすごいと思う。色々な国の料理も、子どもたちの口に合うようにアレンジしているし、自分も参考にしたいと思った。家では食べないものも、給食では残さず食べているようで、とても感謝している。

(栄養士) 小平市ではその月の献立表を、小学校と中学校合わせて全校分交換し、共有している。栄養士は他校のものを参考にしつつ、自分の学校の残菜率や組み合わせを考えながら献立を考えている。

5 その他

なし